

地域福祉保健計画の地区別計画（1）

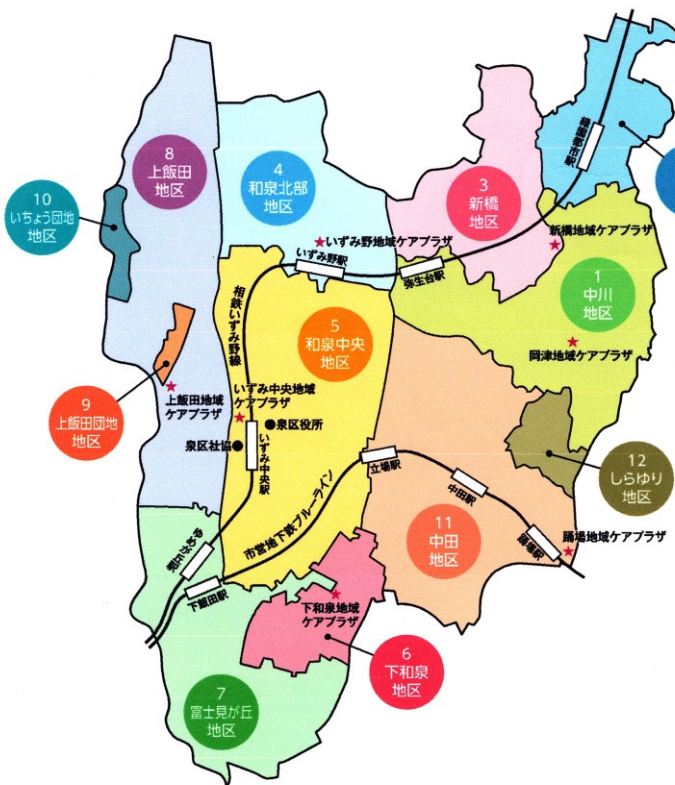
《地区別計画の位置づけと役割》

地区別計画は、より身近な地域の課題に対して、きめ細かく対応するための、地域住民の皆様や活動団体による支え合いの取組を示すものです。それぞれの地域で、福祉保健活動に関わる方々を中心に、地域住民自ら策定した計画です。

泉区では、第1期計画から、連合自治会・町内会のエリアを基にした12の地区ごとに、地区別計画を策定・推進しています。

第4期計画では、それぞれの地区で目指すまちの姿を実現するために、目標と取組を検討し、地区別計画を策定しました。

泉区内の12地区



次ページ以降の掲載内容

- 第1期福祉保健計画
(平成17年～平成21年)
- 第2期福祉保健計画
(平成22年～平成27年)
- 第3期福祉保健計画
(平成28年～令和2年)
- 第4期福祉保健計画
(令和3年～令和7年)

12地区別計画の基本理念

地区名	基本理念
中川地区	ご近所で助け合えるまちを目指して
緑園地区	つながりの輪を広げ 支えあい・助け合うまち緑園
新橋地区	ぬくもりのある町しんばし
和泉北部地区	健やかで明るい、ふれあいのあるまち
和泉中央地区	誰もが楽しく安心して暮らせるまち
下和泉地区	みんなが支え合い、安心して健康に暮らせるまち
富士見が丘地区	ご近所どうしで助け合い 安全・安心・快適なまちづくり
上飯田地区	みんな仲間のまち 上飯田 ～あいさつと笑顔とやさしさと～
上飯田団地地区	支え合い、安心して暮らし続けることができる上飯田暖地
いちょう団地地区	こんにちは 你好 Xin chào みんな笑顔で支えあうまち
中田地区	みんなで支えあい、ともに助け合う(まち)中田
しらゆり地区	ほどよくつながる楽しいまち “しらゆり”



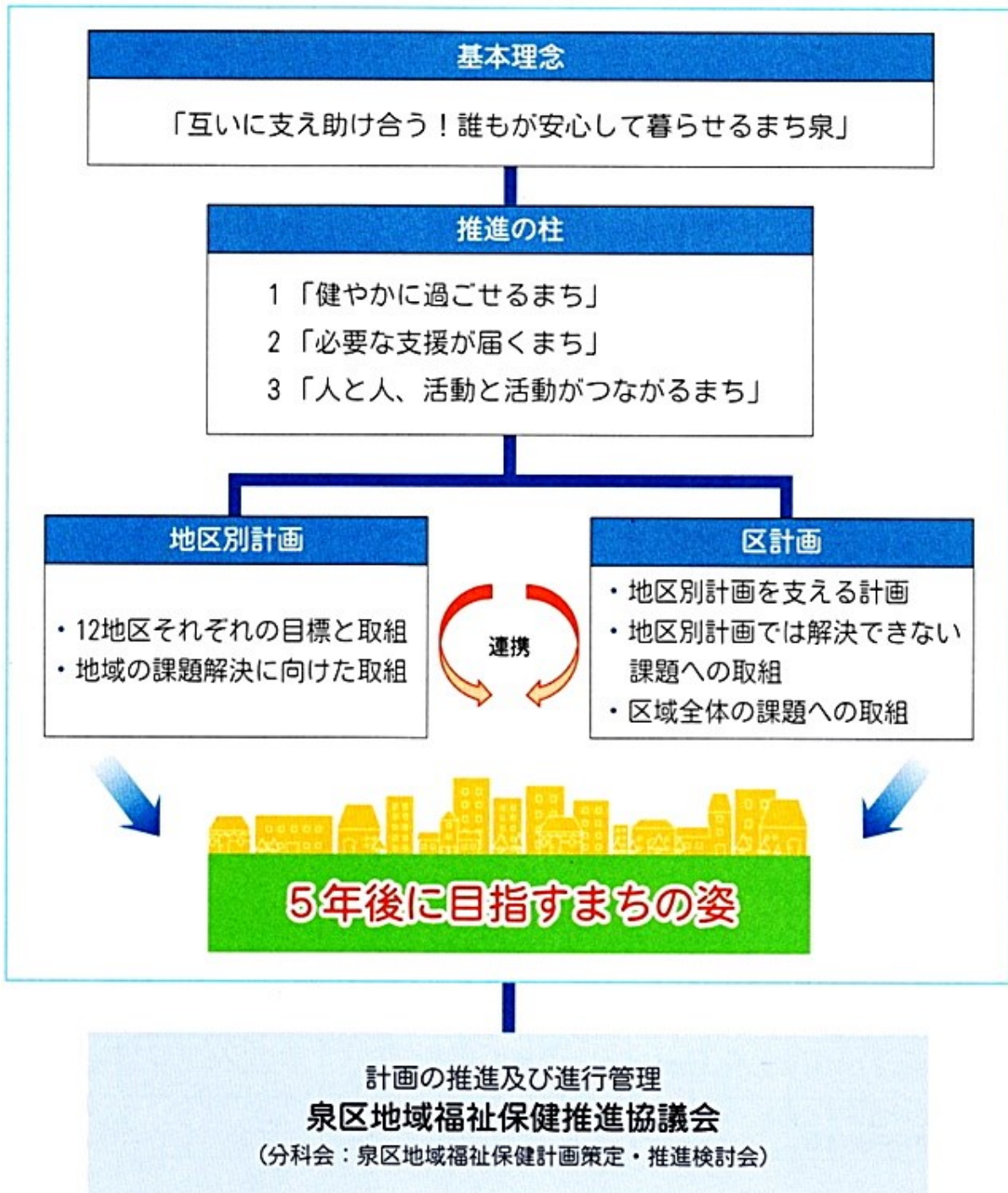
泉わくわくプラン推進キャラクター
『いずちゃん』です。 よろしく！

地域福祉保健計画の地区別計画（2）

第4期泉区福祉保健計画の愛称を区民の皆様にとって覚えやすく、親しみを持って、公募にて決定、今後は「泉区わくわくプラン」を愛称として、様々な福祉保健の取り組みを進めていきます。

第4期泉区地域福祉保健計画

【計画構成】（計画期間：令和3年度～令和7年度）



参考文献：令和3年8月発行の泉わくわくプラン：第4期泉区地域福祉保健計画より

第1期福祉保健計画(H17年度~H21年度) No.1

横浜市の地域福祉保健計画とは、誰もが安心して自分らしく健やかに暮らせる地域づくりを目指し、住民、事業者、公的機関（行政・社会福祉協議会・地域ケアプラザ等）が福祉保健などの地域の課題解決に協働して取り組み、身近な地域の支え合いの仕組みづくりを進めることを目的として、策定・推進するものです。

平成17年度緑園地区地域福祉保健計画

緑園地区地域福祉保健計画ができました。ごらんください！

誰もが気軽に手をさしのべられる
まちになりたい!!

～緑園地区の特徴～

- ・約20年前から開発の進んだ、一戸建とマンション中心の新しい街
- ・高齢化率10.8%と若い街
- ・地域住民に多彩な専門職の人がいる
- ・区内、唯一大学がある
- ・区外へ通勤している人が多い
- ・高低差が40mあり、起伏が大きい



～緑園地区の現状～

- ・隣近所の交流が少ない
- ・地域の活動があまり知られていない
- ・地域の活動に若い世代の参加が少ない
- ・地域に公立中学がなく、私立中学への進学率が高い
- ・核家族が多い

人情あふれる
あたたかいまち
緑園

「ぼうあつたらりりな」

- ① 地域の交流が盛んになり、誰もが顔見知りになる（向こう三軒両隣の関係ができる）
- ② 手助けがほしくて困っている時に、安心して身近に相談できる人や場所がある
- ③ 地区で行われている福祉や保健の活動を誰もが知っている
- ④ 誰もが活動に参加でき、活動をになっていく人たちが増える
- ⑤ 地区の活動に参加したくてもできない人（寝たきりの人・外出に手助けのいる人など）にも手が差し伸べられる
- ⑥ 誰もが、持っている知識や経験を活かして、生き生きと活動できる

17年度の目標

1. 地区で活動している福祉と保健の団体が交流を図り、連携を深める。
2. 地区の多くの人たちが顔見知りになる。
3. 地区で行われている活動の情報発信を強化する。

17年度具体的な活動内容

- ① 夏ごろに緑園地区で福祉と保健の活動をしている人や関心のある人たちが集まり、意見交換や交流を行います。
- ② 秋ごろに子どもから高齢者までの世代間の交流の場をもうけます。
- ③ 情報発信について、必要な人が必要なときに情報をキャッチできる仕組み作りを検討します。同時に地域で行われている活動について幅広く情報を集めていきます。
- ④ 3月に地域福祉保健計画の17年度の活動についてふりかえります。

第1期福祉保健計画(H17年度～H21年度) No.2

＜緑園地区の状況＞

平成17年3月現在

	人口	世帯数	年少人口 (15才未満人口)	高齢人口 (65才以上人口)	出生数 (人口千対)	死亡数 (人口千対)
緑園地区	15,329	5,549	2,562(16.7%)	1,656(10.8%)	157(10.3)	52(3.4)
泉区	153,229	59,653	22,648(14.8%)	25,794(16.8%)	1,459(9.5)	969(6.4)

- ★ 緑園地区高齢化率：6.0%(平成7年3月時点)⇒10.8%(平成17年3月時点)
- ★ 緑園地区年少人口割合：22.9%(平成7年3月時点)⇒16.7%(平成17年3月時点)
- ※ 出生数、死亡数は集計中のため、平成15年9月時点のもの

＜緑園地区のボランティアによる福祉保健活動＞(現在、把握されているもの)

主催	緑園サロン	すみれ会	ストレッチ 体操の会	歩こう会	送迎グループ
対象者	60歳～	一人暮らし高齢者	東花会加入 高齢者	東花会加入 高齢者	送迎が必要な 高齢者・障害者
会場	緑園地域 交流センター	緑園地域 交流センター	サンステージ 緑園都市東の街 コミュニティセンター	/	なし
主な開催日 回数	第2木曜日 第4金曜日	年4回	毎週月曜日	月1回	月2～3回程度
内容	ゲーム、 おしゃべりなど	昼食会と交流 (食事サービス)	ストレッチ体操	ウォーキング	送迎

名称	しゃべり場 だんだん	子育てサロン	保育園園庭開放	おもしろ科学 探検隊	つくしんぼう の会
対象者	地域の高齢者 (要介護者中心)	未就学児と その保護者	未就学児と その保護者	小学生以上(1,2年 生は保護者同伴)	未就学児と その保護者
会場	法人事務所、 地区センターなど	緑園地域 交流センター	緑園なえば保育園	緑園なえば保育園	緑園なえば保育園
主な開催日 回数	年10回	第4火曜日	第1と 第3土曜日	毎月第2土曜日	毎週火曜日
内容	おしゃべり会、会 食、お花見など	遊び・交流	自由遊び	光遊び、静電気で 遊ぼうなど	プログラムに そった活動

**福祉保健計画について一緒に考えたい人！を大募集中です。
また、ボランティア活動の情報も集めています。**

緑園地区「地域福祉保健計画」をすすめる会

代表 飯塚 寿子、松本 保夫、船ヶ山 光子、後藤 登美雄



※情報の提供やお問い合わせは

事務局 泉区サービス課

古寺・夏目まで

☎ 800-2448

FAX 800-2513

第2期福祉保健計画(H22年度～H27年度) No.1

緑園地区
第2期地域福祉保健計画

平成22年度～27年度



第2期計画（平成22～27年度）では
こんなことに取り組みます！

緑園地区のめざすまちの姿（6年後のまちの姿）

こどもから
高齢者まで元気
で生き生きと
暮らし、気軽に
交流できるまち

ボランティアなど
の活動に参加した
くても、どうした
らよいかかわらな
い人が気軽に地域
活動に参加できる
まち

手助けがほしく
て困っている時
に、安心して
身近に相談でき
る人や場所が
あるまち

緑園地区の皆さんの声（地区懇談会での生活価値観）

- 他人に助けを借りなくても、生活できると考えている人が多い
- あいさつはするが、それ以上の話までは進まない
- 緑園地域は他所から移住してきた人が多く、つながりが薄い

目標・具体的な取組

<目標>

地域の地道な活動を継続し、みんなの力で
それぞれの活動を深化＝進化することで
住みよいまちをつくりましょう

（具体的取組）

- 1 高齢者の居場所づくり
（緑園サロン、すみれ会、友愛サ
ロンなど既存の活動の充実）
- 2 こどもの居場所づくり
（子育てサロン、こどもが集まる
場所など現在の活動の充実）
- 3 健康づくり
（こどもから高齢者までそれぞ
れの年代の健康づくりなど現在
の活動の充実）

【区役所、区社協、ケアプラザ】

地域諸団体の連携を図り広報活
動などを通じて取組を支援しま
す。

第2期福祉保健計画(H22年度～H27年度) No.2



緑園地区ってこんなまち



- 20年前に開発された一戸建てとマンション中心の新しいまち
→隣近所の交流が少ない
- 高齢化率は平成17年9.4%、21年度は13.1%です。泉区全体が17.7%で、比較的若いまち、高齢化が一気に進むまち
- 子どもの数は減少傾向で、14歳以下の人口が15.1%となっている

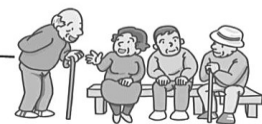
第1期計画（平成17～21年度）に取り組んだこと

- 「エンジョイライフメッセ」を開催し、「地域活動ガイドブック」を作成しました。これにより、地域の活動が知られるようになり、交流が広がりました。
- 子育てサークルが集まり、情報交換や子育てを考える懇談会を開催し、連携を図ることができました。

～地域活動の紹介～



子育てサロン



高齢者サロン 一人暮らし高齢者食事会



エンジョイライフ メッセ



フラワーアレンジメント体験中

< 策 定 > 緑園地区社会福祉協議会

< 事務局 > 緑園地区支援チーム

○泉区社会福祉協議会 802-2150

○泉区福祉保健センター 800-2401

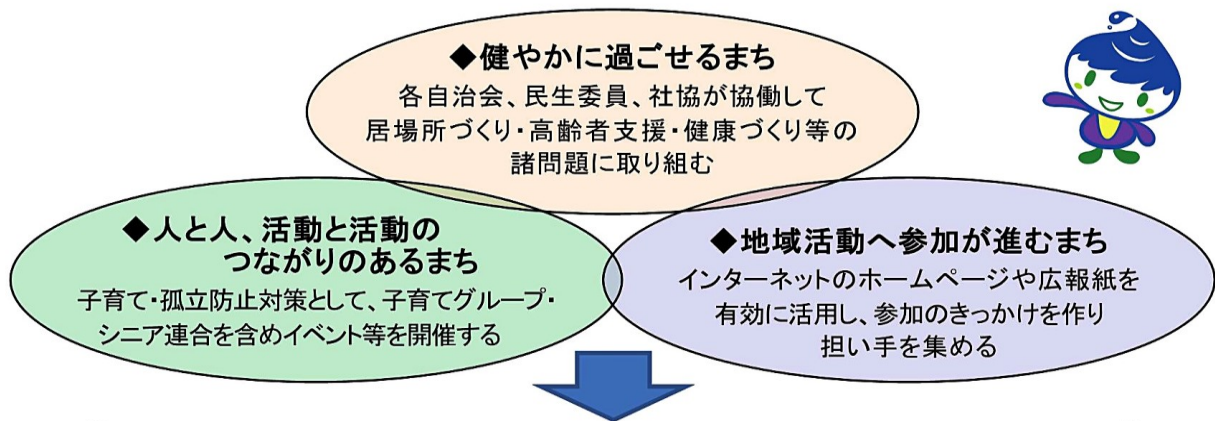
○新橋地域ケアプラザ 813-3877

第3期緑園地区地域福祉保健計画（平成28年度～32年度）

人・和のあるまち緑園

《 緑園地区が目指すまちの姿 》

緑豊かな心あふれるまち！福祉活動の充実で安心して暮らせるまち！



＜緑園地区の現状＞

- 1) 開発以降28年が経過し、まちの再生と活性化が望まれている
- 2) 少子高齢化(長寿化)が進み、日常の生活面で助け合いが必要な方が増えている
- 3) 小中一貫校の設置や緑園周回バスの運行、防犯カメラの設置等が実現に向かっている
- 4) 元気な高齢者は、地域の活動に参加を希望する声が多い
- 5) 乳幼児から青少年まで、こどもの見守りの輪が広がりつつある

《 目標と具体的な取り組み 》

《 目標 》

多くの住民が文化活動や健康づくりの地域活動に参画し、ふれあい、知り合って、お互いを見守り・支え合い・助け合いができるまちを目指す＝そのために緑園地区社協は福祉活動の中心となり、連合自治会・各種団体・行政・区社協・地域ケアプラザと協働して取り組む

《 具体的な取り組み 》

＜こどもと高齢者＞

- ・子育ての連携
キッズフェスティバルの開催
- ・こども見守り活動支援
キッズクラブ、その他
- ・居場所の充実
町内別居場所づくり
緑園サロン・大人の居場所
子育てサロン等継続支援
- ・シニアクラブの活性化
活動の充実と加入率UP

＜健康づくりと予防＞

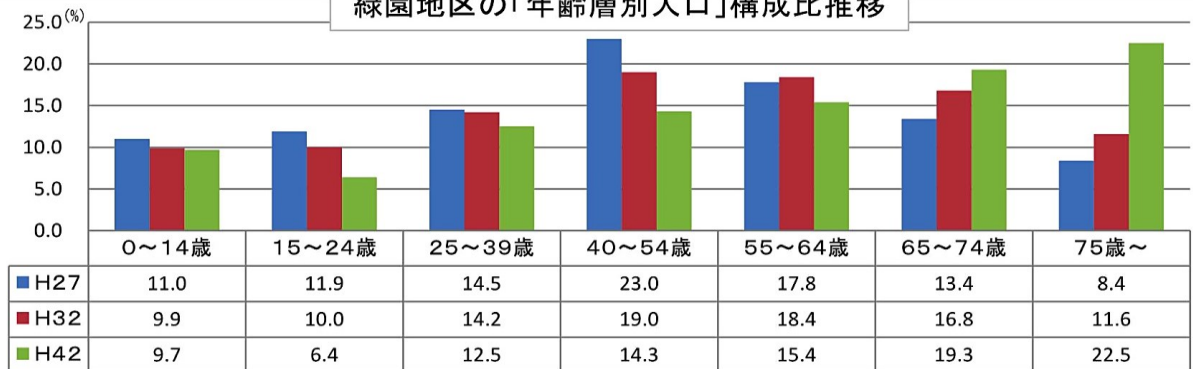
- ・食事会の開催
年間2回開催の実施
- ・健康体操の充実
月間2回開催の継続
- ・ウォーキングの会発足
毎月1回町内散歩開催
- ・ラジオ体操・ふまねっと運動
などの軽スポーツの普及
自治会施設を活用し
居場所で開催

＜支え合い・助け合い＞

- ・災害時要援護者支援
自治会と協働で支援
- ・地区社協の拠点づくり
常設の拠点設置
- ・認知症サポーター育成
講習会の開催と支援
- ・障がい者支援活動
困っている人の手助け
- ・広報活動の継続
広報紙とホームページ

第3期福祉保健計画(H28年度～R2年度) No.2

緑園地区の「年齢層別人口」構成比推移



緑園地区における人口は、平成27年3月末現在で14,413人となっている。
 また、65歳以上の人口構成は5年前の平成22年には14.7%であったが、平成27年3月末には21.2%と高齢化が進み超高齢地域となっている。一方、19歳以下の若年層は17.1%に減少している。
 泉区役所の人口推移想定によると、高齢単身世帯・夫婦のみ世帯が増加し世帯規模は縮小、子育て層と子どもが転出傾向にあるとしている。また、高齢者層は平成32年には28.4%、平成42年には41.8%と想定している。
 これらのデータを見れば急速な高齢化(長寿化)対策は待たなしであり、地域福祉の取り組みはさらに重要性が増している。
 (資料：平成27年3月泉区役所「緑園地区の人口・年齢構成」による)

◆第2期計画(平成22年度～27年度)の振り返り

第2期福祉保健計画では、「人・和のあるまち緑園」をスローガンに活発な活動を展開し、各種団体と協働で大きな成果を上げることができた。但し、個別の活動は活発に行われたが、人や活動のつながりが第3期に向けた課題となった。

- 地域における交流は、「ふれあい祭り」「ふれあいフェスティバル」を中心として多くの住民が参加し地域に根付いている。
- 「子育て」や「高齢者の居場所」活動は多く行われたが、団体間の連携と近場での開催要望があり今後の課題となった。
- 健康づくりは、関係部門の協力で「健康体操」「健康チェック」に多くの住民が参加した。拡大要望も多くさらに充実したい。
- 障がい者支援への取り組みも施設訪問を継続的にを行い、保育園児の協力で慰問をより楽しいものにする事ができた。

《 第2期計画での活動事例 》

【地域交流の拡充・各種団体との協働】

- 福祉ふれあいフェスティバル(6月)
- 共同募金協力(10月) ○福祉ふれあい祭り(10月)
- 福祉保健研修会(随時) ○関係団体交流会(随時)



【こども・高齢者の居場所づくり】

- 親と子の居場所
「ぐりん」、「子育てサロン」、
「ピッコロひろば」、…
- 高齢者の居場所
「南・北緑友会」、「東花会」、
「ふらっと(民児協)」、
「緑園サロン」、…
- 居場所の充実



【健康づくり】

- 健康体操教室、ヨガ体験教室 (RSC)
- スポーツフェスティバル (RSC・協力)
- 健康チェック (福祉ふれあいまつり)
- 関係部門との協働 (RSC/ケアプラザ等)



【「障がい」の理解と施設訪問】

- 施設訪問: 希望苑、新橋ホーム、名瀬の里
- 行事協力: ひかりの園・夏祭り
- 施設訪問情報収集等



<策定>

緑園地区社会福祉協議会

<事務局: 緑園地区地域支援チーム>

泉区役所福祉保健センター
電話: 800-2433

泉区社会福祉協議会
電話: 802-2150

新橋地域ケアプラザ
電話: 813-3877

第4期福祉保健計画(R3年度～R7年度) No.1

緑園地区 第4期(令和3年～令和7年度)地域福祉保健計画

つながりの輪を広げ 支え合い・助け合うまち緑園

緑園地区が目指すまちの姿 /

地域福祉活動の充実を図り、誰もが健康で安全・安心して暮らせるまち!



第3期計画 平成28年～令和2年の振り返り

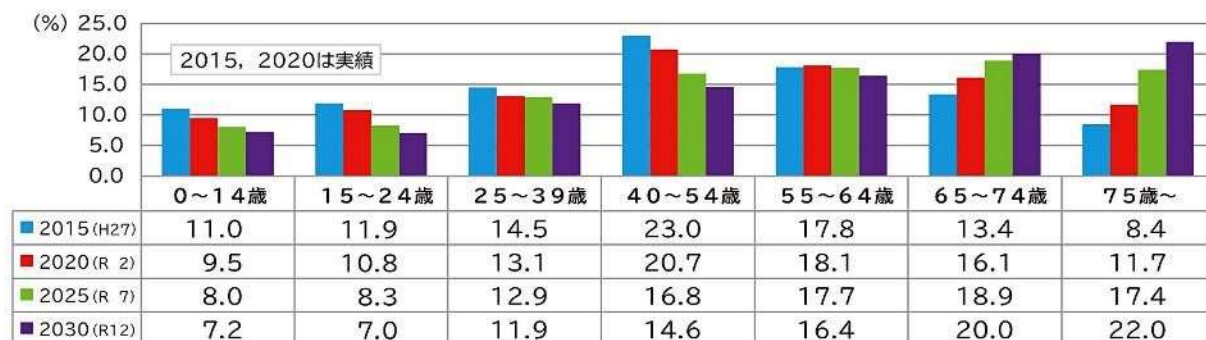
第3期福祉保健計画では、「人・和のあるまち緑園」をスローガンに活発な活動を展開し、各種団体と協働で大きな成果を上げることができた。又個別の活動は活発に行われたが、人や活動のつながりと担い手不足が第4期に向けた課題となった。

- ◆ 地域の交流は「ふれあい祭り」「ふれあいフェスティバル」「キッズフェスティバル」等子育て世帯から高齢者まで参加で定着。
- ◆ 子育て・高齢者サロンや居場所づくりは多く行われてきたが、団体間の連携と近場の開催要望があり今後継続課題となった。
- ◆ 健康づくりは関係部門の協力で「健康体操」「健康チェック」に多くの住民が参加した。拡大要望も多くさらに充実したい。
- ◆ 障がい者支援への取り組みも施設訪問やイベント支援が継続的に行われ、ボランティアの積極的協力で推進できた。
- ◆ 令和元年度後半から令和2年度は新型コロナウイルス感染防止策に伴いほとんどの事業を中止する状況となった。



第4期福祉保健計画(R3年度～R7年度) No.2

緑園地区の「年齢層別人口」構成比推移(実績と予測)



緑園地区における人口は、2020年3月末現在で5,926世帯で13,798人となっている。
 また、65歳以上高齢者層の人口構成は5年前の2015年には21.8%であったが、2020年3月末には27.8%と高齢化が進み超高齢地域となっている。一方、24歳以下の若年層は20.3%に減少していてその後も減少傾向が続く。
 泉区役所の人口推移想定によると、高齢単身世帯・夫婦のみ世帯が増加し世帯規模は縮小、子育て層と子どもが転出傾向にあるとしている。高齢者層は2025年には人口12,126人に対し36.3%、2030年には42.0%と想定している。
 これらのデータを見れば急速な高齢化(長寿化)対策は待ったなしであり、地域福祉の取り組みはさらに重要性が増している。第4期福祉保健計画は2025年を目標として取り組む。(資料：2020年泉区統計情報及び2015年3月泉区役所「緑園地区の人口・年齢構成」による)

緑園社協は協働し近場でのふれあい健康づくりを進めます!



緑園地区集いの場

- ◆東の街「東花会」
60歳以上高齢者会員の集い
東の街
コミュニティ
センター
- ◆2丁目「井戸端会議」
自治会親睦の居場所
自治会館
- ◆西の街「水曜日」
自治会員の居場所
西の街
コミュニティ
センター
- ◆5丁目居場所「つながり」
自治会員の交流の場
クラブハウス
- ◆緑園サロン
60歳以上高齢者会員の集い
交流センター
- ◆南北緑友会
60歳以上高齢者会員の集い
クラブハウス
- ◆民児協「ふろっと」
大人の居場所
交流センター
- ◆地区社協「食事会」
一人暮らしの高齢者対象
交流センター
- ◆「さくらカフェ緑園」
高齢者対象の食事提供
交流センター
- ◆子育て支援「くりん」
親と子の居場所
交流センター

上記「集いの場」に参加ご希望の方は
 緑園地区社協：090-3426-0294に
 お問い合わせください。

<策定>
 緑園地区社会福祉協議会
 電話：090-3426-0294

<事務局：緑園地区地域支援チーム>
 泉区福祉保健センター 電話：800-2433
 泉区社会福祉協議会 電話：802-2150
 新橋地域ケアプラザ 電話：813-3877